

第25回 結核臨床研修会の実施報告について

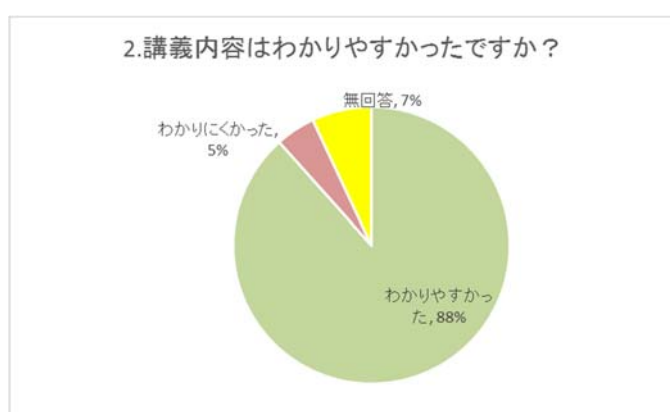
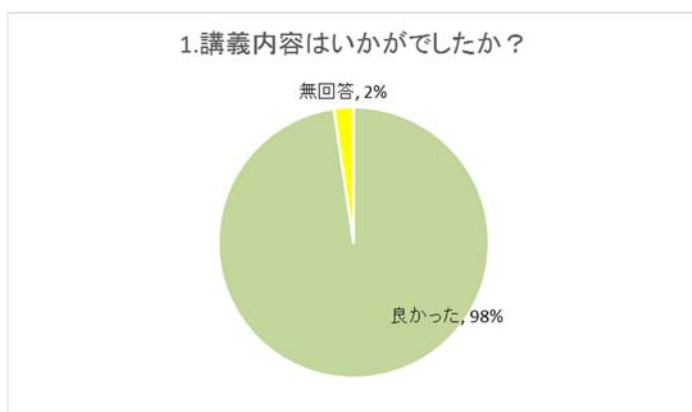
平成29年12月10日(日)、当院にて当院主催の第25回結核臨床研修会を開催しました。当研修会は結核医療における医療機関等の地域連携強化、結核医療の向上を目的としています。平成13年度から年1回県内で開催していましたが、平成27年度に石川県の結核診療の中核病院に指定されたことから、年2回の開催となりました。

通算第25回目の今回は、能登中部保健所、羽咋郡市・七尾市医師会等からの共催や後援のもと、能登中部地区の医療従事者及び介護福祉関係者の方々に参加いただき、結核診断のポイント・症例・評価・N95 フィットマスクの実習等5演目にて研修を行いました。



今回のアンケート結果についてご報告いたします。

アンケート結果～



良かった理由

- ・分実際にマスクの着用等がよかった。
- ・結核に対する知識が深まり良かった。DOTSを成功させるために院内の連携、地域との連携方法が他の治療時も参考になると思いました。
- ・大変な病気だと思っていました。充分気をつけて日々過ごしていけたらと思います。今日の研修会が無駄にならないようにと思います。

今後の研修内容の希望

- ・地域 DOTs への移行、地域 DOTs の実際についてもっと詳しく知りたいと思いました。実際の取り組み事例もふまえて説明いただけるとありがたく感じます。
- ・検査技師からの希望ですが採痰の正しい採取法、保存についても少し触れて欲しいと思いました。

アンケートはどれも好評で、回答いただきましたご意見、ご要望を参考に次回の研修会をより良いものにし、中核病院として様々な情報を提供していきたいと思っております。